

分科会開催報告書

報告日 令和3年 6月 3日(木)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 147回 例会
開催日時 令和3年 5月 30日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 浮雲俳句会会員 男9名 女5名 合計14名 欠席者 0名	

実施内容

第147回例会は、兼題 時候・天文・地理（初夏）の中から1句。他に当季雑詠3句。合計4句。句会は、菅井三旦会員による選句の披講の後、全会員それぞれが、特選句に選んだ句の選評をした。その後、作品に対する質問や意見を述べ合った。又、月当番による添削披露。選者による秀句3句の発表と選評を行った。最後に、全会員で、特選句8句を選んだ。

特選句	縦横に蟻の走りや無言劇	國 眼
	吹き渡る横浜の三塔聖五月	二 祥
	薔薇の園肺の底まで香を満たし	あきえ
	おほでまり闇夜に奏づセレナーデ	勇 平
	夕映えの帰帆に迫る卯波かな	和 女
	車庫奥の同居せがむや燕の子	重 九
	泡沫や遠き指切り初蛩	春 駒
	立葵美人姉妹の背くらべ	勇 平

選者による秀句

	五月山見下ろし舞ふやめをと鳶	重 九
	新緑や風運びゆく樹の鼓動	和 女
	梅雨寒やヒールの響く夜半の街	春 駒

次回の予定

令和3年6月27日(日) 午前9時30分～午前11時30分
「第148回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—
兼題は、人事・宗教（中夏）の中から一句。他に当季雑詠3句。合計4句。
披講 鈴木勇平会員。